

いそファミ通信

12月号



今年も残すところわずかとなりましたが、今年も新型インフルエンザの流行で多くの方が不安をもった一年でした。新型インフルエンザも一時のピークより減ってきた様子ではありますが、まだまだ、拡大の傾向にあり、予防には十分注意が必要です。またこの時期、マイコプラズマ菌による咳や発熱、感染性胃腸炎（胃腸風邪）も流行しています。うがい、手洗い、マスクの着用、そして体力を落とさない十分な栄養と休息を心掛けていきましょう。

新型インフルエンザワクチンについて

予約について（受付中です！）

新型インフルエンザワクチンについては、供給量が十分ではないため、重症化する可能性が高い基礎疾患を有する患者さんから、優先的に接種することになっています。

当院受付にある申し込み用紙（ホームページからもダウンロード可能）に必要事項を記入の上、直接受付に提出して下さい。

FAX、電話での受付は行っておりません。

優先順位を確認し、折り返しクリニックよりご連絡致します。

また、接種ワクチンについては、国産ワクチンか輸入ワクチンのどちらになるかは、現時点ではわかりませんことをご了承ください。

接種料金

1回目の接種の場合:3600円

2回目の接種であって1回目の接種を当院で行った場合:2,550円

2回目の接種であって1回目の接種を当院以外で行った場合:3,600円

マイコプラズマ菌って・・・？

- ・マイコプラズマ・ニューモニエという小さな病原体で細菌に分類されていますが、細胞壁を持たないため通常の抗生物質は無効です。
 - ・オリンピック（夏期）の年に流行がみられ『オリンピック病』と言われていましたが、最近ではそのような傾向は無くなりました。
 - ・激しい乾いた咳、発熱、全身倦怠感が3大症状です。
 - ・咽頭炎・気管支炎・肺炎などを起こすことがあります。
 - ・咳などによる飛沫感染で潜伏期間は2～3週間と長い。
 - ・子供は咳、発熱の症状はひどくても比較的元気があるのが特徴です。
- 今年もインフルエンザと同様に流行しています。ひどくなると、肺炎を起こすことがあります。症状が続くときは早めに受診しましょう。

感染性胃腸炎

例年11月上旬から急増し、12月をピークに一旦減少しますが、1～3月に再度増加し、その後徐々に減少していきます。

12月のピークはノロウイルス、春のピークはロタウイルスによって形成され、腸炎ビブリオなど細菌性のものやいわゆる食中毒によるものが夏期の胃腸炎の原因になっています。

ノロウイルスは冬の胃腸炎の主な原因で、嘔吐や下痢を引き起こします。食中毒のように、このウイルスに汚染された水や食品を口することで感染しますが、風邪のように人から人へも感染します。また、感染しても症状が現れないことがありますので、家族に胃腸炎症状がある時は要注意です。

排便後や調理前は流水でしっかりと手を洗いましょう！

治療のポイントは、下痢、嘔吐の症状がひどいときは下痢を止めず、整腸剤で腸内細菌叢を整え、早くにウイルスを体から追い出すことです。下痢止めを使うことで、かえってウイルスが体の中に長くとどまり、重症化することがあります。

また、水分も一度に多量でなく、少しずつ摂ることで吸収されていきます。

いそむらファミリークリニック